



菅谷小だより



目指す学校像「笑顔あふれる元気な学校」

菅谷小よいこのワクワクワーク：「やる気わく 元気わく 勇気わく」

文責 校長 荒川 統

学校教育目標

ふるさと「嵐山」を
愛する子
すすんで学ぶ子
がんばる子
やさしい子

第151回卒業式



3月24日（火）、菅谷小学校、第151回卒業式が挙行されました。コロナ禍を経て、菅谷小学校のリーダーとして立派に成長した6年生62名に「卒業」という節目にあたり、以下のはなむけの言葉を贈りました。（一部要約）



菅谷小学校を巣立ちゆく62名の皆さんに心を込めてエールを送ります、ご卒業おめでとうございます。

皆さんは今日をもって、この歴史と伝統ある菅谷小学校を卒業します。今、一人一人が手にしている卒業証書は、小学校卒業の証であると同時に、これから先、どんな困難に遭っても「力強く生き抜いて欲しい」という願いを込めたもうひとつの証でもあります。

新たな道をひたむきに歩み続けることを期待するとともに、今、まさに巣立ち行く皆さんの堂々たる姿に接し、心から拍手贈ります。



6年前、皆さんは期待と不安を胸に本校に入学をしました。あの日から6年間、多くの人に支えられ、愛され、心も体も立派に成長し、本日をもって小学校を卒業します。

今の喜びと感謝の気持ちを、まず第一に今日まで育てていただいたご家族に伝えてほしいと思います。

これまで私は、「相手をより良く認めること」つまり多様性について話してきました。相手を大切にすることは、自分を大切にすることと同じです。これからの変化の大きな社会においてこそ、この考えを忘れずに自分も周りも社会も

「win-win」にできる人間になることを期待しています。

皆さんは、「1の百乗」という言葉を知っていますか？百乗ということは百回かけるということです。つまり1を百回かけるわけです。いくつかは分かりますよね？そうです、1は何回かけても答えは1です。では、それにたった100分の1、1%を加えた1.01を百回かけると答えはいくつになると思いますか。答えは、2.73にもなるそうです。そして逆に0.99を百回かけるといくつになるでしょう。想像できますか？答えは0.37になります。たった1%を頑張るだけで、3倍近い結果になり、たった1%手を抜くだけで半分以下になる。「続けることの大切さ」がわかりますね。

そして、100回というのは1年の中で3分の1です。3日に1回でよいので必ず何かを続けて欲しいと思います。それは、皆さんにいつも伝えているワクワクワーク「勇気わく」の『あいさつ』かもしれません。または、「元気わく」で『毎日走る』ことかもしれません。それとも「やる気わく」で新しい科目で毎日『なにかを一つ必ず覚える』ことかもしれません。なんでもいいので必ず続けてみてください。何を続けたらいいかわからなかったらぜひ、菅谷小の生活を思い出してみてください。皆さんは意識していないかもしれませんが、この6年間の中にきっとあるはずです。これからの皆さんの中学校生活を輝かしいものにしてくれるはずです。

卒業生の皆さん、漫画家の手塚治虫さんが「人を信じよ。その百倍も自分を信じよ」と言っています。先ほどの相手を認めることの土台は、皆さんの自身です。将来をいたずらに不安に思うことなく「今日一日を大切に」、そして「楽しみしかない」というような前向きな気持ちで突き進んで下さい。

私たちは皆さんに出会えたこと、皆さんの先生になれて幸せでした。

「卒業おめでとうございます」そして「さようなら」

我が誇れる嵐山町立菅谷小学校 62名の卒業生と保護者の皆様の未来が温かく、笑顔に満ちたものになることを心より祈念し、校長のことばといたします。



令和8年3月24日

嵐山町立菅谷小学校長 荒川 統

本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。入学当初から比べ、心も体もたくましく成長された我が子の晴れ姿に、感激もひとしおかと存じます。

学校といたしましても、微力ではありますが、精一杯力を注いでまいりました。

その間、保護者の皆様におかれましては学校教育に対し、惜しみないご理解とご支援・ご協力をいただきましたことに、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

お陰様をもちまして、立派な卒業生を送り出すことができます。お子様は本日をもって本校を卒業します。3年後には学校統合を控えているところですが、今後とも引き続き、我が子の母校、この菅谷小学校発展のためにお力添えをいただきますよう、お願いをいたします。

